

# インフルエンザワクチン接種のお勧め!!!

## 2022-2023年シーズンは、インフルエンザの流行の可能性が大きい

日本（北半球）のインフルエンザ流行予測をするうえで、オーストラリア（南半球）の流行状況は参考になります。オーストラリアでは昨年までインフルエンザ患者は極めて少数でしたが、2022年は4月後半から報告数が増加し、例年を超える流行となっており、今冬の日本での流行が心配されます。

また、過去2年間日本でもインフルエンザの流行はなく、私も全くインフルエンザの患者様を診療していません。社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していると考えられ、一旦感染がおこると、特に小児を中心に社会全体として大きな流行となるおそれがあります。



## インフルエンザワクチンを接種しましょう!!!

インフルエンザ感染で重症化する可能性の高い、65歳以上の高齢者、5歳未満のお子さん、そして年齢には関係なく、心臓や肺などに慢性の持病のある方、悪性腫瘍で治療中の方、高度の肥満の方はぜひ、インフルエンザワクチンを接種しましょう。また、これらの方と一緒に生活されておられる方、学校や職場で人との接触の多い方も積極的に受けて頂きたいと思います。



インフルエンザが流行すると、たくさんのお子さんが高熱を出し、中には気管支炎、肺炎、熱性痙攣などで入院することもあり、稀にインフルエンザ脳症をおこすこともあります。

今季も例年通りに、小児、妊婦も含めて、接種できない特別な理由のある方を除き出来るだけ多くの方に、インフルエンザワクチンの積極的な接種をお勧めいたします。

## 引き続き感染予防対策を!!!

新型コロナの流行も継続しており、インフルエンザと合併すると重症化が心配されます。インフルエンザの予防には、ワクチンの接種だけでなく他の呼吸器感染症と同様に、一般的な予防も大切です。手洗い、マスク、咳エチケットを普段から心がけて下さい。

